

近江八幡市脱炭素GX人材育成プラットフォーム（仮称） の組成に向けた検討について

1. 趣旨

令和6年4月に策定した「近江八幡市脱炭素ビジョン2050」では、再生可能エネルギーの導入目標や省エネルギー推進目標のほか、プロジェクト目標として脱炭素人材の形成支援に取り組むことを定めている。

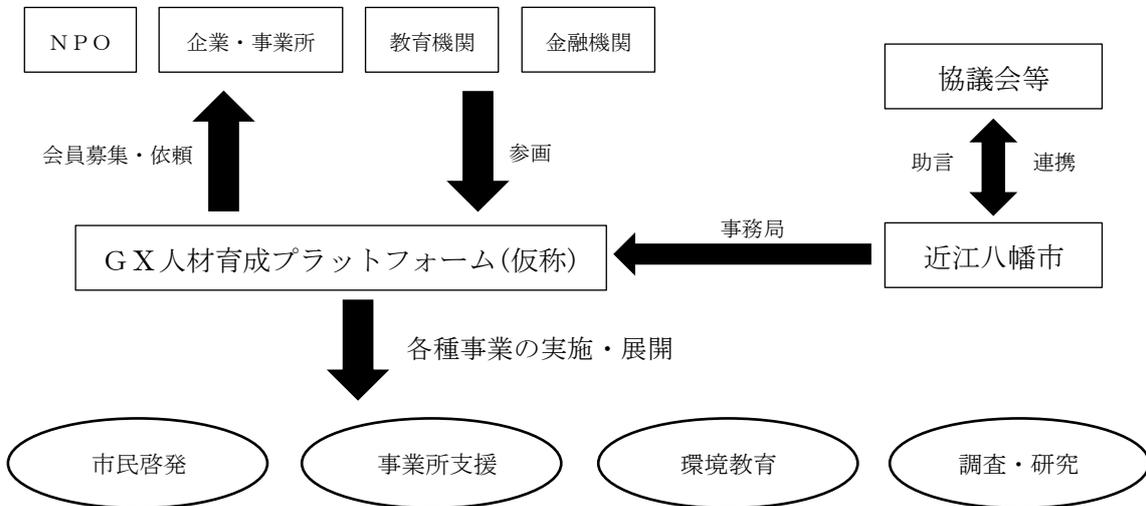
2050年の脱炭素社会を実現するためには、行政だけでなく、市民や事業者の意識を醸成し、事業を推進する核となり得る主体を育成・形成していくことが重要である。

したがって、将来の脱炭素まちづくりを担う人材を創出することを目的として、事業所、各種団体、行政、教育機関など様々な主体が連携・協働し、各種事業を展開するプラットフォームの立ち上げを行うもの。

2. 主な対象

- 県内の企業・事業所
- 県内の各種団体
- 全国の研究・学術機関
- 市内の小学校、中学校、高等学校
- 県内の大学 など

3. プラットフォームの体制(案)



4. プラットフォームの事業内容(案)

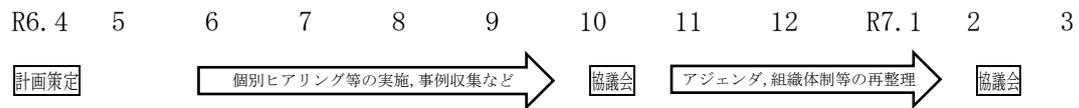
- ①市民啓発…脱炭素イベントの実施、ポスター・ロゴマーク等の作成・普及、環境保全活動の取組推進 など
- ②事業所支援…エネルギー診断の実施、事業所向け出前講座・セミナー等の実施 など
- ③環境教育…教育機関と連携した環境プログラムの実施、教職員向け学習会・セミナー等の提供、講師派遣 など
- ④調査・研究…脱炭素ビジョンに掲げる施策(地域新電力、バイオマスなど)に関する学習会、先進事例の勉強会、視察の実施 など

5. 今後の課題

- プラットフォームの会員募集に当たり、参画企業・団体等へのインセンティブ(補助・支援の検討, 参画団体のPR等)の検討
- プラットフォームの事業内容、実施体制の整理
- プラットフォームの運営等にかかる経費について

6. 今後のスケジュール

【令和6年度】…プラットフォームのアジェンダ・推進体制の整理、事業者・各種団体等へのヒアリング実施



【令和7年度】…プラットフォームの設立に向けた周知・募集の実施と事業の実施

